

第 18 回小平市水泳協会理事会

議 事 録

2019 年 12 月 19 日

出席者 会長 ○金子 副会長 ○河野 理事長 ○渡辺
運営本部 ○清水 ○瀬戸口 ○若林 広報 ○土方 普及 ○堀川 競技 ○堀尾
体育協会代表委員 ○渡辺 都下水連 ○河野

議 題

A：報告事項

1. 小平市体育協会関係 なし
2. 東京都水泳協会関係 なし
3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

- 1) 小平市民活動支援センターへ 2020 年度市民活動団体データ集へ情報提供済
今回から連絡責任者を金子会長から清水運営本部長へ変更（メールなど協会アドレス使用）
- 2) 12 月 27 日教室会費振替請求 517 件・1,126,250 円
- 3) ゆうちょ銀行 12 月分清算 361,730 円を本会計へ 12/13 入金
- 4) 正会員 元監査 競泳競技役員 山口高治相談役 12 月 3 日（火）午後 3 時頃 自宅にてご逝去。76 歳
- 5) 2020 年度水中ウォーキング教室日程チラシ 1000 枚入荷済。本日、広報委員会へ引渡し済。
- 6) 協会キャラクター応募者一覧
→提出資料にて応募者を確認した。ジュニアで保護者以外の申し込みがあった。
- 7) 橋本ちづ子さん正会員退会
退会理由 現在所属している小平水協以外の水泳協会の在勤として市町村大会に参加したい。
市町村の出場制限で在住在勤がある。所属している水泳協会が在勤としての判断が難しい事はお伝えしたが退会希望された。

市民まつり実行・会議管理部門

- 1) 4/9（木）決定済、会議室は第一会議室、4/23（木）理事会決定前ですが、第一会議室を確保しました。
4/23（木）は協議事項で確認
- 2) 次回開催、1 月 19 日（日）午後予定
- 3) 市民まつりでのポケットティッシュ配布を行政側へ確認したら問題なしとの回答であった。パレードでのチラシ配布は隊列が乱れるので禁止。

5. 広報委員会

- 1) 広報委員会報告 2019 年 12 月 13 日（金）19 時～ 体育館第一会議室
出席者：土方 齋藤 菊池 金子 中條 岡部 中村 渡辺理事長
新しい広報誌について
名前：水協だより ースイスイー（キャラクターの名前と絵を使う）
発行日：年 3 回と号外（記録会・市民水泳競技大会）
内容：事業報告だけではなく、参加者の声を、感想を載せる。教室会員さん対象
配布先：・教室会員 手渡しできる正会員
・体育館内に置く 壁に貼る HP に載せる
・手渡し出来ない正会員へは HP を見てもらう
・関係団体には送らない。
・上記のことは水夢こだいら 161 号に掲載する
印刷：ラスクル A4 サイズ両面 光沢紙 カラー印刷 1000 部
→ 新しい広報誌作製時は新しい HP との関係もあるので、当面は清水運営本部長も出席とする。

- 2) 水夢こだいら 161 号発行について
2020 年 1 月編集会議 2 月レイアウトなど行う。日時未定
- 3) HP 更新
第 17 回理事会議事録
2019 年市民まつり

6. 普及委員会

- 1) 2020 年度委員会予算について
- 2) コーチングスキームの見直し案が委員からあった
 - ・有志を集めて形を創っていく方向
 - ・水泳協会全体をコントロールしていくのは不可能なのではないか？
 - ・情報共有として考えていくのか？
 - ・それとも水泳協会のレベルアップを目的とするのか？
 - ・小宮委員を中心に、形を創っていく方向で検討していくことになった。
- 3) 都下水連主催の実技研修会について
12 月 15 日に回覧にアップ

7. 競技委員会：なし

8. 都育成事業特別委員会 なし

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

- 1) 2020 登録完了。(敬称略、順不同)
単年度登録 15 名 丹羽・相川・真杉・伊佐・大野・金子・久野・松山・鈴木聖・中島・宇留野・萩野・藤原・
小林・小島
終身登録 3 名 小柴・荒畑・若林 (非活動：鈴木佐知代)
- 2) チーム登録領収書 5000 円及び振込手数料領収書 330 円を運営本部へ渡す。

11. その他報告事項

- 1) 市町村水泳競技大会の、市・体協・水協 3 者打ち合わせについて 12 月 17 日実施
参加者：市 松本担当、体協 荒武副会長、島野事業課長、水協 金子
①幹事市西東京市と都下水連との打ち合わせについて⇒ 別紙「都下水連からの話」(当日配布します)
②小平市の対応について
水協⇒ アンケートの回答どおり、五輪開催年であり大会開催そのものに反対である。
しかし、競技役員など、派遣要請があれば協力する。
市⇒ 50m プールでなくとも良いことになったので、十分な設備でないことから引き受けできない。
開催予定日の 9 月中旬では、気温等気象条件に左右されやすいので、室内プールがよりベターである。
体協⇒ 西東京市が会場探しを積極的に行えば、運営を都下水連に任せることで開催可能ではないか。
会場を無料で借用するのでなく、それなり使用料を考えてはどうか。
③今月中に第 5 ブロック会議が開催され、協議決定される予定。
Q→誰が決めるのですか？
A→西東京市です。
- 2) 土方委員長は次回理事会欠席の為、齋藤副委員長が出席。

B：協議事項

1. 小平市体育協会関係 なし
2. 東京都水泳協会関係 なし
3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

- 1) 山口相談役ご逝去に伴う弔慰金の支出について
⇒弔慰規定により 5000 円を支給する。理事会として弔慰金などの意見があったが、あくまで協会としての規定にそって支出する。

- 2) 協会キャラクターの開示方法など
 ラップ東京へ電子化依頼済、作製作業料 9800 円（税別）。いくつかのパターンを作製して制作者へ確認後に開示予定であるが、開示方法を協議頂きたい。
 ⇒電子化が完成したら、プール横にポスターと水夢こいだら 161 号で開示する。採用者の氏名についてはご本人に確認してよいか確認を行う。
- 3) 来年度の教室会員予算ベースでの人数及び指導員&庶務員確保について 第 17 回理事会継続審議 10 年後のあるべき姿（組織）など資料にて運営本部の考え方を説明し以下を確認した。
 確認事項→指導員の選任については適切な人材を優先していく。
 ※指定管理者側からの教室運営提案に対する協会としての考え方は次回理事会で検討する。
 ⇒教室運営の改革が、もう充分だとは思っていない。積極的に取り組んでいくがその都度対応していく。
 指定管理者との関係は、話し合いすら行われていないのが問題である。個人的な交渉では無く、協会として話し合いの場を設ける必要がある。話し合いについては会長・理事長にて日程確保を行う。
- 4) 2020 年度市民水泳教室及び会費の口座振替日程表
 口座振替の停止連絡最終日の例文に「口座引き落とし」を追加した。
 ⇒提出資料で承認。日程部分については口座振替チーム及び普及委員会で再確認して 2 月教室から配付する。

市民まつり実行・会議管理部門

- 1) 来年度の理事会日程案について ⇒承認
 4/9（木）決定済、4/23（木）会議室予約のため 第一会議室で確保済→確認したい。
 5/14（木）、5/28（木）、6/11（木）、6/25（木）。7/9（木）、7/30（木）、8/6（木）。8/20（木）、9/3（木）、9/17（木）、10/1（木）。10/15（木）、11/5（木）、11/19（木）、12/3（木）、12/17（木）、1/14（木）、1/28（木）、2/4（木）、2/18（木）、3/4（木）、3/18（木）、4/8（木）

5. 広報委員会 なし

6. 普及委員会

- 1) 2020 年度ジュニア水泳教室の説明会開催について
 ⇒12 月 21 日（土）か 26 日（木）開催の提案があったが、指導員・庶務・理事など多くの参加者への説明が必要な為、2020 年 1 月 18 日（土）19 時～（会場は未定）とする。

7. 競技委員会

- 1) オリンピックの表記は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」と並列にする。
 市民水泳記録会、市民水泳競技大会
 ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に関連づけて実施する。
 ・記念品はそれぞれの実施要項・ポスター等で PR して、参加選手の増加につなげる。

【市民水泳記録会】

- ・記録会の目的の一つである「教室会員が普段の練習泳力を測定する機会」で教室会員が参加しやすい競技内容にする。同様に小学生が参加しやすい競技内容にする。
- ・選手の安全確保から「折り返し側からの飛び込みは、リレー種目含めて行わない。」
 ⇒以前の理事会で承認された。

1. 競技種目

リレー種目の想定対象選手を 25m×4、50m×4 で明確にする。

25m×4：教室会員、小学生 50m×4：中学生以上

- ・ 25m×4 リレー、メドレーリレーは、水中スタートで手動計時にする。
- ・ 50m×4 メドレーリレーを追加
 ⇒教室会員（ジュニア・成人・シルバー）の参加費は無料とし提案通り承認

2. その他

- ・吸水マットの設置⇒万一の防水対策のためにバスタオルを準備する。
 金子会長：体育協会への依頼文書提出時、川野課長の反応は？
 →ご丁寧な対応にありがとうございました程度であった。

- ・テレビモニター設置、通告内容がスピーカーを通して招集所で聞き取れる：招集所でレースの進行状況がわかる。

堀尾委員長：モニターor スピーカー検討（ワイヤレス or コード設置）

安部委員：大型液晶テレビを貸し出しても良い。

⇒テレビモニターは市民まつり部門で購入を予定しているため共有可能である。スピーカーによる温水プール以外への放送は体育館側が許可しないのではないかと。引き続き検討要。

【市民水泳競技大会】

1. 競技種目

- ・おやじの会から金子会長をとおして200歳以上区分のリレー、メドレーリレー種目の要望有り。理由は選手の高齢化に伴うもの。

⇒個人種目は選手の参加年齢で上限区分を設定している。

選手の参加意欲を維持、向上するために新たな区分を設置する。大会は選手が主役である。

現状は一般160才以下と161才以上の2区分だが、将来の高齢化を考慮して159才以下、160～199才、200才～239才、240才以上の区分とする。

⇒参加者を増やす事にもなるので承認

その他

① 競技役員の減少に歯止めをかける。特に市民水泳競技大会。

・ 個人による知人への依頼

以前、既に理事会で承認されているので、依頼文書を作成して、指導員・庶務員・正会員・教室会員に幅広く依頼する。

堀尾委員長：依頼文書作成

関口副委員長：教室回覧

・ 学生協力員への依頼

人数は少なくともできる限り競技役員に専念して頂きたい。

案1) 正会員、教室会員の協力員と同様に1種目+リレーのみの参加（無料）

案2) 現在と同じく1校10名までで3種目+リレー参加（有料）。競技出場の際は必ず交替者を入れる。

堀尾委員長：案1)で実施したいが念のために小平高校 本間水泳部顧問、創価高校 青山水泳部顧問の意見を聞く。

⇒案1)では学生協力員の参加が少なくなる可能性がある。片手間かもしれないが競技役員の実験をさせてあげる事を大切にしたいので現状通りの案2)で承認。

8. 都育成事業特別委員会

- 1) ジュニア初心者水泳教室 要項・予算書について
- 2) 夏期集中ジュニア水泳選手コース 要項・予算書について
- 3) シニア初心者水泳教室 要項・予算書について

※1) 2) 3) 全て日程のみ第15回理事会で承認。その他は継続審議⇒再度、継続審議

※1) 2) の申し込み方法については、HPからとする事に第16回理事会にて確認。

⇒要項及び予算書については修正版をドロップボックスへ格納する事で承認。

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会 なし

11. その他協議事項 なし